

# 平成31年度各会計予算に 対する各会派等の

# 意見表（要旨）

## 自民党豊島区議団

平成31年度一般会計予算及び3特別会計予算並びに一般会計補正予算第1号に賛成する。

区民要望、当会派要望等への対応状況等の観点から審査し、持続発展都市づくりに向けた、様々な施策を展開する予算と評価する。以下、各款、特別会計に係る主な意見・要望を述べる。

平成31年度一般会計予算、3特別会計予算及び一般会計補正予算第1号の可決に賛成する。総括として、豊島の将来にとって必要な投資の伸びと理解するが、貯金と借金のバランスを改善し、不測の見直しで身の丈にあった財政運営を望む。

19年度一般会計及び3特別会計予算に反対する。第一に深刻な区民生活を直視し、暮らし、福祉、教育など区民需要が最優先の予算になつていない。待機児童ゼロというが、隠れ待機児童は20人になる見込み。認可保育園の園庭確保と保育士の配置基準、待遇改善は進んでいない。低所得者への制度は後退。住まいに困窮する高齢者への対応が不十分、障がい者施設も民間まかせで進まない。

平成31年度一般会計予算、3特別会計予算、一般会計補正予算（第1号）のすべてに賛成の立場で意見を述べる。

平成31年度一般会計予算、3特別会計予算、平成31年度一般会計補正予算（第1号）に賛成の立場から意見を述べる。

「虹としま」石川大我は、2019年度一般会計予算、3特別会計予算、一般会計補正予算に賛成の立場で意見を述べる。

## 公明党

## 日本共産党

## 民主ネット

## 都民ファーストの会とこま

## 虹としま

政策経営費では、重要で関心の高い情報へのホームページのアクセシビリティを高めよ。総務費では、入札制度の総合評価方式見直しは丁寧に行うように。福祉費では、高齢者クラブの活性化のための取組の継続等を。また、視覚障害者対応として、シグナルエイドの対象者に向けた普及啓発の努力を。衛生費では、産後ケア事業の利用後の経過観察等に一層努力を。環境清掃費では、公園の全面禁煙化について周知の徹底を。都市整備費では、無電柱化は景観、防災力向上の点からも促進を。文化商工費では、ハレザ池袋一帯が有効に活用されるプログラムの検討を。子ども家庭費では、保育需要は地域、年齢等を細分化し見通すこと。教育費では、新入学の手引の適切な配布を。公債費では、オルタナティブルールを順守し健全な財政運営の堅持を。

「環境清掃費・都市整備費」フードロス削減対策を飲食店へ。空き家等を活用した入居支援。池袋西口まちづくりの合意形成。東長崎駅・椎名町駅周辺、上池袋一丁目木密地域の不燃化推進。谷端川緑地の改修。駐輪場複数月契約拡大と、障がい者減免措置の複数年契約。

31年度予算は約千55億円で過去最大規模となり、投資的経費は前年より90%伸びて403億7千万円計上されたが、福祉や教育に影響を及ぼす不安もなく、財政調整基金の取り崩しをせずに予算編成ができ、貯金と借金のバランスもまずまずの結果となり、評価する。学校改築など老朽化した様々な施設の更新を迎えるため、各種基金は必要で財政計画はしっかりと行うこと。歳入面では不合理な税制の改善に向けて国に働きかけるべき。選挙管理委員報酬は日額とすべき。高齢者対策のどこが目玉プロジェクトなのかかわかりにくい。医療的ケアが必要な人への支援が始まるが、障害者差別解消法を活かす重要な施策である。路上生活者施策は路上から脱出できる支援策を講じるべき。羽田空港強化にかかる課題には、オープンな教室型説明会を開催するべき。プラスチックごみの海洋汚染は、時期を逃さず取り組むべき。子どもスキップは施設に大きな格差があり改善を要望。区職員である幼稚園教諭の増員を。介護人材の育成は大変大事。中小の介護事業者の事業協同化が実現できるよう強く要望する。

以下、款別に意見を述べる。総務費では、業務継続計画は重要項目を満たし改定を。青パトの巡回、自動通話録音機の無料貸出等で特殊詐欺の抑制を。衛生費では、骨髄ドナー支援制度の周知を。都市整備費では、土砂災害警戒区域・特別警戒区域に該当見込みの駒込東公園への対応を。文化商工費では、東アジア文化都市の賑わいを実感できるよう、オールとしまで取組を。ソメイヨシノ発祥の地のPR強化を。子ども家庭費では、園庭のない保育園からの家庭や体育館の使用希望への対応を。教育費では、業務見直しやWEB会議導入等で教職員の働き方改革を。長期休職時のバックアップ体制を。

「虹としま」石川大我は、2019年度一般会計予算、3特別会計予算、一般会計補正予算に賛成の立場で意見を述べる。款別の主な意見は、▼区役所の障がい者雇用は、多様な障がいを持つ方々がいることに配慮し、障害特性に合わせた働きやすい職場づくりを▼受動喫煙対策は、区施設における全面禁煙をさらに進めよ▼民泊は、申請条件である7日前までの20m範囲での周知文の配布実施をしつかり見守り、区民の不安に丁寧な対応を▼自然エネルギーの区施設への導入をさらに進めよ。自然エネルギー活用により、都市と地方の持続可能な地域づくりに貢献を▼2020年春オープンの造幣局地区防災公園は、隣接する東京国際大学との防災連携強化を。桜や四季の草花が楽しめる、区民にとって憩いの場となる公園になるよう求める▼学校におけるパリティ、男女同数のさらなる推進を▼学校の多目的トイレは普段施設されているものが散見される。普段から使える状況にすべき▼商店街のインバウンドやダイバーシティ施策には、メニューの多言語化支援だけでなく、キャッシュレス決済の導入も支援を。

特別会計では、認知症対策として住み慣れた地域で介護を受けられるように望む。

「文化商工費・子ども家庭費・教育費」プレミアム付き商品券発行。東京五輪の園児・児童・生徒の観戦は、暑さ・安全対策を。訪問型病児保育の対象年齢拡大。待機児童対策と保育の質確保。児童虐待対策強化。学校体育館エアコン設置の前倒しを要望。

第四に職員の残業や学校開放指導員の突然の委託提案など区政のゆがみ、ひずみが出ている。保険料を値上げする国民健康保険と後期高齢者医療、高い保険料が必要なサービスが受けられない介護保険に反対。

3特別会計について、都と連携した選択的介護事業をより進めるため、事業者数の拡充、ケアマネへの制度理解向上等を要望。

本予算が「多様性を尊重し、すべての人に優しい豊島区の将来」へとつながるよう期待する。